

令和6年度鹿児島市交通事業特別会計決算の概要

(収支状況)

(単位:千円)

区分		軌道	自動車	計
収益的 収入 及び 支出 (税抜)	営業収益	1,730,327	1,198,586	2,928,913
	営業外収益	508,107	321,143	829,250
	経常収益計 (A)	2,238,434	1,519,729	3,758,163
	特別利益	0	0	0
	収益合計 (B)	2,238,434	1,519,729	3,758,163
	営業費用	2,140,284	2,074,878	4,215,162
	営業外費用	40,668	30,554	71,222
	経常費用計 (C)	2,180,952	2,105,432	4,286,384
	特別損失	0	1,140	1,140
資本的 収入 及び 支出 (税込)	費用合計 (D)	2,180,952	2,106,572	4,287,524
	経常損益 (A) - (C)	57,482	△ 585,703	△ 528,221
	純損益 (B) - (D)	57,482	△ 586,843	△ 529,361
	企業債	464,100	36,000	500,100
	補助金	0	6,216	6,216
	収入計 (E)	464,100	42,216	506,316
	建設改良費	469,881	48,027	517,908
	企業債償還金	340,540	109,927	450,467
	支出計 (F)	810,421	157,954	968,375
資金 収支	収支差引 (E) - (F)	△ 346,321	△ 115,738	△ 462,059
	損益勘定留保資金等	451,542	233,537	685,079
	うち 交通事業債 (経営改善推進事業)	0	30,900	30,900
	6年度資金収支	162,703	△ 469,044	△ 306,341
	5年度末資金残	6,432,467	△ 6,150,852	281,615
	6年度末資金残 (G)	6,595,170	△ 6,619,896	△ 24,726

(主な事業)

- (1) 市電・市バス運賃クレジットカードタッチ決済事業 ※ 12,723 千円
運賃決済のキャッシュレス化による利便性向上を図るため、市電・市バスにおけるクレジットカードタッチ決済を本格的に運用した。あわせて乗降データ等を分析するとともに、分析結果のオープンデータ化に取り組んだ。
- (2) モバイル定期券導入事業 ※ 760 千円
現行のラピカ定期券に加え、スマートフォンのアプリ内で購入や利用ができるモバイル定期券を発売し、利便性向上を図った。
- (3) 併用軌道横断歩道舗装改修事業 104,641 千円
併用軌道の横断歩道において、舗装の改修を行い、横断する利用者の安全性を確保した。
- (4) 併用軌道交差点改良事業 14,788 千円
交差点の軌道をコンクリートブロックを用いた制振構造に改良し、通行する電車や自動車等の安全性を確保し、利用者の乗り心地向上を図った。
- (5) 専用軌道停留場上屋改修事業 ※ 6,277 千円
経年劣化により柱や屋根材が腐食している上屋の改修を行い、安全性の確保と利用者へのサービス向上を図った。
- (6) 併用軌道電車線柱等調査事業 26,805 千円
併用軌道区間に設置されている電車線柱や電車線の維持保全のため劣化度等の調査を行った。
- (7) 電車車内蛍光灯LED化事業 14,127 千円
電車内で使用されている蛍光灯を環境にやさしいLEDに更新した。
- (8) 乗合バス更新事業 24,861 千円
低公害低床型バス1両を購入し、交通事業の環境に配慮した取組やバリアフリー化を推進した。
- (9) バス運行データ分析事業 ※ 9,112 千円
官民連携プラットフォームを通じて提案されたバス運行データ分析ツールを導入し、路線・ダイヤの見直しにおける事務の効率化等を図った。
- (10) VVVF制御装置更新事業 53,020 千円
電車2110形から2140形で使用されている、モーターを制御して速度を調整するためのVVVF制御装置を更新した。
- (11) 渡り線その他分岐器更換事業 54,071 千円
路線に敷設されている老朽化した分岐器の更換を行い、電車通過時の安全性を確保し、利用者の乗り心地向上を図った。
- (12) 1000形ブレーキ装置空制化事業 44,911 千円
電車1000形で使用されているブレーキシステムを電気式から、近年開発された、高い信頼性を備えた空気式へ更新した。

※印の事業は税抜。その他は税込。